



戻ってきた、盆の風物詩——

【写真説明】

1.6. 町のドラゴンボートチーム「津奈木海龍」によるデモンストレーション／2. 大漁旗を振って力漕する選手を応援／3. 舵取りには長年の経験が必要とされ、操る人の腕ひとつでレースの展開が決まるそう／4. 桟橋前からスタート地点まで移動／5. 優勝が決まった後、桟橋前まで全力で漕ぐ／7. 力漕した選手たちをねぎらう／8. 力を合わせ全力で漕ぎ続けることを誓った大川大樹さん（内野）／9. 決勝戦を終えて笑顔の丸岡チーム／10. 水しぶきを上げてスタート／11. 会場に響く鐘の音／12. 優勝旗と賞状を掲げて笑顔の大泊チーム

【大会結果】
 ▼優勝 大泊チーム
 ▼2位 平岡・福浦チーム
 ▼3位 内野チーム
 ▼4位 丸岡チーム

8月15日(火) 千拓堤防で第58回町民体育祭競舟大会が7年ぶりに開かれ、15チームが参加しました。競舟の試合は、敗者復活戦ありのトーナメント方式。漕ぎ手10人と艇長・鐘打ち・舵取りが各1人の合計13人が舟に乗り、300mの直線コースでタイムを競いました。ことしの決勝戦には、内野、大泊、丸岡、平岡・福浦の4チームが出場。1分30秒で大泊チームが平成27年以来的優勝を果たしました。いずれのチームも各地区からの声援を受け、鐘の音とともに水しぶきを上げながら力漕しました。

第58回町民体育祭競舟大会 フォトレポート

力漕



【写真】決勝戦。互いに激しく競り合い、熱戦を繰り広げました